

鉄 \TeX における右寄せ系命令のまとめ

1 \右寄せ

1.1 書式

`\右寄せ [#1]{#2}`

#1: 右寄せの前に確保すべき長さ
(デフォルト: 0pt)

#2: 右寄せしたい文字列

1.2 本文中で用いた場合

例: `\右寄せ [1zw]{右寄せ}` を使った場合。

あああああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああああ 右寄せ

1.3 別行立て数式中で用いた場合

例: `\右寄せ [1zw]{…… (答 A)}` を使った場合。

$$\begin{aligned} y &= a + b + c + d + e + \frac{1}{x} \quad \dots\dots (\text{答 A}) \\ &= a + b + c + d + e + f + \frac{1}{x} \quad \dots\dots (\text{答 A}) \\ &= a + b + c + d + e + f + g + \frac{1}{x} \quad \dots\dots (\text{答 A}) \end{aligned}$$

1.4 利点

気軽に使える。

1.5 欠点

「本文中で用いた場合」かつ「現在の行の深さが深い場合」に、出力位置がずれる。例えば、次のようになる。

ああああああ $\frac{1}{x}$ あああ $\frac{1}{x}$ ……右寄せ

2 \右寄せ*

2.1 書式

`\右寄せ* [#1][#2]{#3}`

#1: 右寄せの前にできれば確保したい長さ
(デフォルト: 0pt)

#2: 右寄せの前に最低限確保すべき長さ
(デフォルト: #1 と同じ値)

#3: 右寄せしたい文字列

2.2 本文中で用いた場合

例: `\右寄せ*[2zw][1zw]{右寄せ}` を使った場合。

あああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああ 右寄せ
あああああああああああああ 右寄せ

2.3 別行立て数式中で用いた場合

例: `\右寄せ*[2zw][1zw]{…… (答 A)}` を使った場合 → 正しく機能しない

$$\begin{aligned} y &= a + b + c + d + e + \frac{1}{x} \quad \dots\dots (\text{答 A}) \\ &= a + b + c + d + e + f + \frac{1}{x} \quad \dots\dots (\text{答 A}) \\ &= a + b + c + d + e + f + g + \frac{1}{x} \quad \dots\dots (\text{答 A}) \end{aligned}$$

2.4 利点

気軽に使える。

2.5 欠点

- 別行立て数式中では正しく機能しない。
- 「本文中で用いた場合」かつ「現在の行の深さが深い場合」に、出力位置がずれる。例えば、次のようになる。

ああああああ $\frac{1}{x}$ あああ $\frac{1}{x}$ ……右寄せ

3 \新右寄せ

3.1 書式

`\新右寄せ [#1]{#2}`

#1: 右寄せの前に確保すべき長さ
(デフォルト: 0pt)

#2: 右寄せしたい文字列

ただし、「新右寄せを含みうる」という名前の環境内、つまり

```
\begin{新右寄せを含みうる}
~
\end{新右寄せを含みうる}
```

の中でしか使えない。

3.2 本文中で用いた場合

例: `\新右寄せ [1zw]{右寄せ}` を使った場合。

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああ 右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああああ 右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああああ 右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああああ
右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああああ
右寄せ

3.3 別行立て数式中で用いた場合

使用不可。

3.4 利点

「現在の行の深さが深い場合」であっても、出力位置がずれない。

3.5 欠点

- ・別行立て数式中では使えない。
- ・「新右寄せを含みうる」環境でくくって使う必要がある。

4 \新右寄せ*

4.1 書式

`\新右寄せ* [#1] [#2] {#3}`

#1: 右寄せの前にできれば確保したい長さ
(デフォルト: 0pt)

#2: 右寄せの前に最低限確保すべき長さ
(デフォルト: #1 と同じ値)

#3: 右寄せしたい文字列

ただし、「新右寄せを含みうる」という名前の環境内、つまり

```
\begin{新右寄せを含みうる}
~
\end{新右寄せを含みうる}
```

の中でしか使えない。

4.2 本文中で用いた場合

例: `\新右寄せ* [2zw] [1zw]{右寄せ}` を使った場合。

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああ 右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああ 右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああ 右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああ 右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああ
右寄せ

$\frac{1}{x}$ ああああああああああああ
右寄せ

4.3 別行立て数式中で用いた場合

使用不可。

4.4 利点・欠点

← 左と同じ

5 \数式内右寄せスター

5.1 書式

`\数式内右寄せスター {#1}[#2][#3]{#4}`

#1: & 以降に打ち込むべき数式 (& は含まない)

#2: 右寄せの前であれば確保したい長さ
(デフォルト: 0pt)

#3: 右寄せの前に最低限確保すべき長さ
(デフォルト: #1 と同じ値)

#4: 右寄せしたい文字列

↑これを別行立て数式 (`\[~\]` や `align*` 環境) の中で用いる。

5.2 使用例

`\数式内右寄せスター {数式の内容}[2zw][.5zw]{`
…… (答 A) } を `align*` 環境内で用いた場合

$$y^2 + y = b + c$$

$$= f(z)$$

$$= 1 \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

$$\xrightarrow{n \rightarrow \infty} \frac{a^2 + 1}{\frac{1}{\sqrt{3}}} \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

$$\xrightarrow{n \rightarrow \infty} \frac{a^2 + 1}{\frac{1}{\sqrt{3}}} + 1 \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

$$\xrightarrow{n \rightarrow \infty} \frac{a^2 + 1}{\frac{1}{\sqrt{3}}} + 123 \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

$$\xrightarrow{n \rightarrow \infty} \frac{a^2 + 1}{\frac{1}{\sqrt{3}}} + 12345 \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

$$\xrightarrow{n \rightarrow \infty} \frac{a^2 + 1}{\frac{1}{\sqrt{3}}} + 123456 \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

$$\xrightarrow{n \rightarrow \infty} \frac{a^2 + 1}{\frac{1}{\sqrt{3}}} + 1234567 \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

$$\xrightarrow{n \rightarrow \infty} \frac{a^2 + 1}{\frac{1}{\sqrt{3}}} + 12345678 \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

$$\xrightarrow{n \rightarrow \infty} \frac{a^2 + 1}{\frac{1}{\sqrt{3}}} + 123456789 \quad \dots \quad (\text{答 A})$$

5.3 利点

- `\右寄せ*` と同様の挙動を、`\右寄せ*` では不可能だった、別行立て数式の中で実現できる!
- 「現在の行の深さが深い場合」であっても、出力位置がずれない。

5.4 欠点

- 2 回コンパイルが必要。
- 引数には、右寄せしたい内容 #4 のみならず、& 以降の数式の内容を #1 に与える必要があり、やや面倒。

5.5 補足

スターなし版、つまり `\数式内右寄せ` という命令は用意されていない。普通の `\右寄せ` で事足りるからである。

6 まとめ

	\右寄せ	\右寄せ*	\新右寄せ	\新右寄せ*	\数式内右寄せスター
本文中で使えるか	○	○	○	○	×
別行立て数式中で使えるか	○	×	×	×	○
本文中で深さの深いとき正しい位置に出力	×	×	○	○	—
別行立て数式中で深さの深いとき正しい位置に出力	○	—	—	—	○
その他の制約	—	—	「新右寄せを含みうる」環境内でのみ使える		2回コンパイル必要 引数がやや面倒